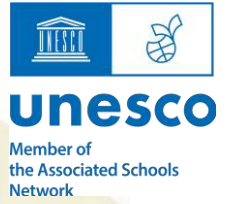


# 令和8年度 斐太北の教育説明書



## 地域・家庭との包括的連携

CS(コミュニティ・スクール)が最外層から学校教育全体を包み込みます。



## 知・徳・体のバランス良い育成

知育(思考)、徳育(多様性)、体育(健康)の3部体制で成長を支えます。

### 教育課程の抜本的改革(令和8年度)

単元内自由進度学習やみらい学習(ESD)

を軸とした斐太北型イェナプラン教育の創造



知育  
(思考)



個別最適な学び  
単元内自由進度学習、  
学年部での学び  
(低・中・高)

## 一步上の自分へ

大人も子どもも、自らが主役となり  
成長を目指す斐太北の目指す姿



徳育  
(多様性)



カリキュラム  
教科の構造化  
(学年別+AB方式)



探究・社会連携  
みらい学習(ESD)、  
CS・地域学校協働本部



体育  
(健康)



## 一人一人が主役の学びへ



# 令和8年度 「斐太北の教育」～家庭・地域とともに育てる斐太北の子～

	目 標（評価方法）	学校では次のことに力を入れて指導します！	ご家庭へのお願い
確かな学力	<p>〈教科の学習等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「学習がよく分かった」という児童 90%以上</li> <li>○「自分でやるべきこと、やりたいことを決めて学習に取り組むことができた」という児童 80%以上</li> <li>○次につながる振り返りができたという児童 70%以上</li> <li>○「自分のためになる家庭学習をすることができた」という児童 80%以上</li> </ul> <p>〈みらい学習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「自分の課題を見付けて、課題に沿う方法を考えて取り組んだ」という児童 90%以上</li> <li>○「いろいろな人やものと関わり合いながら活動する中で、課題を解決することができた」という児童 90%以上</li> </ul> <p>（評価方法：児童・保護者アンケートの実施 職員の自己評価）</p>	<p>・職員は「斐太北型イエナプラン」を進めるための研修を継続して行います。そして、児童が自分で学習のやり方や進め方を決めて、主体的に学習に取り組めるように、学習の計画立てを支援したり、学習環境を整えたりしていきます。</p> <p>・今年度は、2学期と3学期に</p> <p>・E S Dの能力・態度を育成するために、一人一人の主体性と価値ある体験を大切にした学年部ごとのみらい学習を中核に、各教科や行事と連携した教育活動を充実させていきます。</p> <p>・学年に応じて、自分に適した学習に取り組めるように指導していきます。児童にとっての自主学習の意味や価値を高められるように、家庭での学習の進め方を選択できるようにしたり、その見取りからアドバイスをしたりしていきます。</p>	<p>☆学んだことの意味や価値を深めるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での学習や生活の様子について、ご家庭で話題にしたり、保護者の方の思いを伝えたりして、お子さんの学びに積極的に目をかけていただきますようお願いいたします。</li> </ul> <p>☆お子さんが毎日安心して学習に取り組むために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、連絡帳に目を通し、サインをご記入ください。子どもたちにとって忘れ物がないこと、学習用具や学習環境が整っていることは学校での安定した学習につながります。</li> </ul> <p>☆「低学年 20～30分」「中学年 30～40分」「高学年 50～60分」を目安とした家庭に帰ってからの学習に取り組むために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各家庭で、宿題以外のお子さんに必要な家庭での学習をお子さんとともに確認したり相談したりして、家庭で身に付けさせたいことをお子さんと共有できることが望ましいです。保護者の方の願いとお子さんの家庭での頑張りが合致することがお子さんの更なる成長を支えます。</li> </ul>
豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな学年の友達と協力して活動できる児童 90%以上</li> <li>○相手の気持ちを考えて行動する児童 90%以上</li> <li>○誰にでも進んであいさつをする児童 90%以上</li> <li>○振り返りを生かし、学校生活を良くしようとする児童 90%以上</li> <li>○自分や仲間のよいところを見つけたという児童 90%以上</li> </ul> <p>（評価方法：児童・保護者アンケートの実施 職員の自己評価）</p>	<p>1 他学年交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレンド班活動だけでなく、学年部授業でのかわりを通して、正しい判断力や行動力を培う機会を増やし、自信をもって学校生活を送ろうとする気持ちを育てます。</li> </ul> <p>2 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期の始めにあいさつの意義や大切さについて、重点的に指導するだけでなく、日々の生活の中でも継続してあいさつの大切さを指導していきます。</li> <li>・「おはよう」「さようなら」だけでなく、「ありがとう」の挨拶も大切にします。</li> <li>・誰にでもあいさつしようとする意識を高めていきます。</li> </ul> <p>3 一人一人を大切に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活目標などで自己を振り返る機会を設定します。振り返りをためていくことで自分の視点で成長が感じられるようにしていきます。</li> <li>・ルールを守る大切さを指導します。・差別やいじめにつながる言動にはすぐ対処します。</li> <li>・児童アンケート（毎月）、ふれあい旬間（教育相談 6月、11月）、いじめ見逃しゼロスクール集会、人権教育、同和教育の授業などを全校で行います。いじめ見逃し基本方針はHP参照。</li> </ul>	<p>☆楽しく安全な学校生活が送れるように</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんが話したい時の機会をとらえ、肯定的な対応をお願いいたします。</li> </ul> <p>☆進んで元気なあいさつができるように</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつの習慣化のためには、家庭や地域で、大人から進んであいさつをしましょう。返事や言葉遣いなども、お子さんが正しく身に付けられるように声掛けをお願いします。</li> </ul> <p>☆正しい行動を身に付けるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんのよさや頑張りを認めていただき、また、間違った言動のときには、正しい行動の仕方を教えてください。</li> </ul> <p>☆社会のルールを身に付けるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の家での遊び方のマナー、自転車の乗り方のルール、メディアとの付き合い方について、お子さんとよく話し合ってください。</li> </ul>
健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2回目の体力テストで重点種目の記録が向上する児童 70%以上</li> <li>○運動することの楽しさを感じることができた児童 85%以上</li> <li>○規則正しい生活を送ることができた児童 85%以上</li> <li>○自分が健康であるための方法を知り、実践している児童 80%以上</li> </ul> <p>（評価方法：児童・保護者アンケートの実施 職員の自己評価）</p>	<p>1 体育授業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かすことの楽しさを体得させる授業を実施します。体力テストの結果をもとに、課題となる体力要素の改善を図る運動を取り入れます。ICTを活用し、児童の技能を高めたり思考力を育んだりしていきます。</li> </ul> <p>2 自分の体と健康を知る活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食週間やリズムづくりチャレンジを通して、規則正しい生活を送ることができるよう指導します。</li> <li>・性教育を通して、命の尊さや自他を大切にしようとする心を育てます。</li> </ul> <p>3 元気学校委員会と連携した元気アップタイムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事などと連動させながら体力アップにつながる運動を全校で実施します。</li> </ul>	<p>☆家庭や地域で体力向上を</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんに励ましの言葉をかけてあげたり、お子さんと一緒に体を動かしたりしていただくと、体力だけでなく意欲も高まります。</li> </ul> <p>☆望ましい生活リズムの確立のために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健やかな体の育成には、規則正しい生活リズムの確立が不可欠です。リズムづくりチャレンジを活用し、各家庭でめあてを決め、毎日同じリズムで生活するようにしてください。また、メディア利用宣言の約束を学期に一度は親子で話し合い、決めたルールを意識して生活してください。</li> </ul> <p>☆望ましい食習慣を身に付けるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主食、主菜、副菜のそろった、バランスのとれた食事を心掛けてください。</li> <li>・正しい食事のマナーが身に付くように、くり返し声掛けをお願いします。</li> </ul>

## 特別支援教育

◎一人一人を大切に、助け合い支え合おうとする心や態度を育てます。

◎自立し、社会参加できる基盤となる力を育てます。

一人一人が「分かった!」「できた!」と学ぶ楽しさを感じながら、基礎学力を身に付けるために、学習環境を整えます。

あたたかい気持ちで、誰にでも優しく分け隔てなく接する子どもを育てるための、授業や指導を行います。

お子さんやご家庭の困り感に寄り添った指導・支援を行うために、教育相談・校内委員会を行います。ケースによって専門機関とも連携します。

保護者・地域の皆様に、特別支援教育についての理解を深めていただくための場を設けます。（説明会・移行学級・報告会）



# みらい学習紹介 ~地域に学び、地域を愛し、地域で育つ子ども~

斐太北小学校の教育の中核となる「みらい学習（生活科・総合的な学習）」の学年テーマが決まりました。地域に飛び出し、地域の中で学ぶ子どもたちに、ご支援とご協力をよろしく願いいたします。なお、中・高学年の写真は、昨年度の活動のものです。

## 低学年 育てて 仲よし みんなでぐんぐん大きくなあれ！

野菜や動物の飼育を通じ、地域や保護者、友人と関わりながら試行錯誤を繰り返す中で、自身の成長や周囲の支えを実感できる活動を目指します。命の尊さを学び、つながりを尊重する態度を大切にすると共に、「育てるには何が必要か」を多角的に考え、他者と協力する力を育みます。

1 学期は学校の畑で「何を育てようかな？」と期待を膨らませ、野菜栽培をスタートします。仲間と相談しながら育て、収穫する喜びを分かち合う経験は、子どもたちにとって多くの気付きと豊かな学びにつながるはずです。



### 【SDGs との関わり】

目標 12 つくる責任、つかう責任

目標 17 パートナースhipで目標を達成しよう



## 中学年 にこにこ斐太地区大作戦 ~人も自然もハッピーに~

県民休養地や学校の周辺を舞台に、たくさんの自然と関わっていきます。自然と遊んだり、自然を生かして活動したりする活動を通して、地域の自然の素晴らしさに気付き、守っていききたいという気持ちを育みます。

1 学期は、県民休養地でやってみたいことにどんどん挑戦したり、内川、矢代川での川遊びや生き物探しをしたりしていきます。活動をする中で、仲間と協力する大切さも学んでいきます。



### 【SDGs との関わり】

目標 14 海の豊かさを守ろう 目標 15 陸の豊かさも守ろう

目標 17 パートナースhipで目標を達成しよう



## 高学年 ふるさと

様々な地域のよさや課題を知ることで、自分たちの地域のよさや課題を見つめ直します。いろいろな人とのつながりを大切に、これからの社会に必要なことを見付け、自分たちにできることを考え実践しようとする態度を育てていきます。「比べて考えること、確かめること」を大切に、出会った事象を自分事として捉えて追求していきます。

1 学期は、まずは広くふるさと妙高のよさに触れ、そこから自分の興味関心をもったことに向き合い、探究活動をじっくりと行います。それをみんなで共有し、子どもと伴に次の活動を創っていきます。



### 【SDGs との関わり】

目標 11 住み続けられるまちづくりを

目標 17 パートナースhipで目標を達成しよう

